

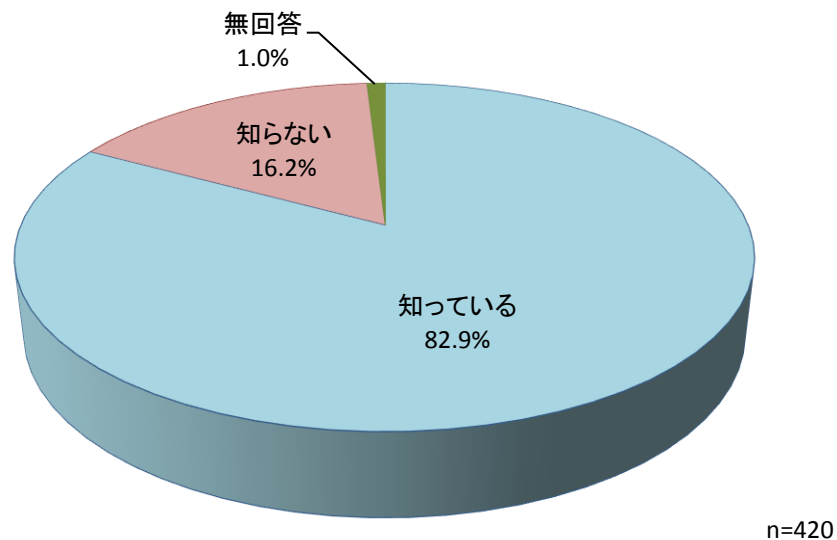
5. 住宅用火災警報器について

(1) 「住宅用火災警報器」設置義務の認知度

◇ 「知っている」が8割強

問14	全ての住宅等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられたことを知っていますか。 ※市内のすべての住宅（一般住宅，共同住宅，店舗併用住宅等）に平成21年6月1日から設置が必要です。 (○は1つ)	n=420
1	知っている	82.9%
2	知らない (無回答)	16.2% 1.0%

<図IV-5-1>全体

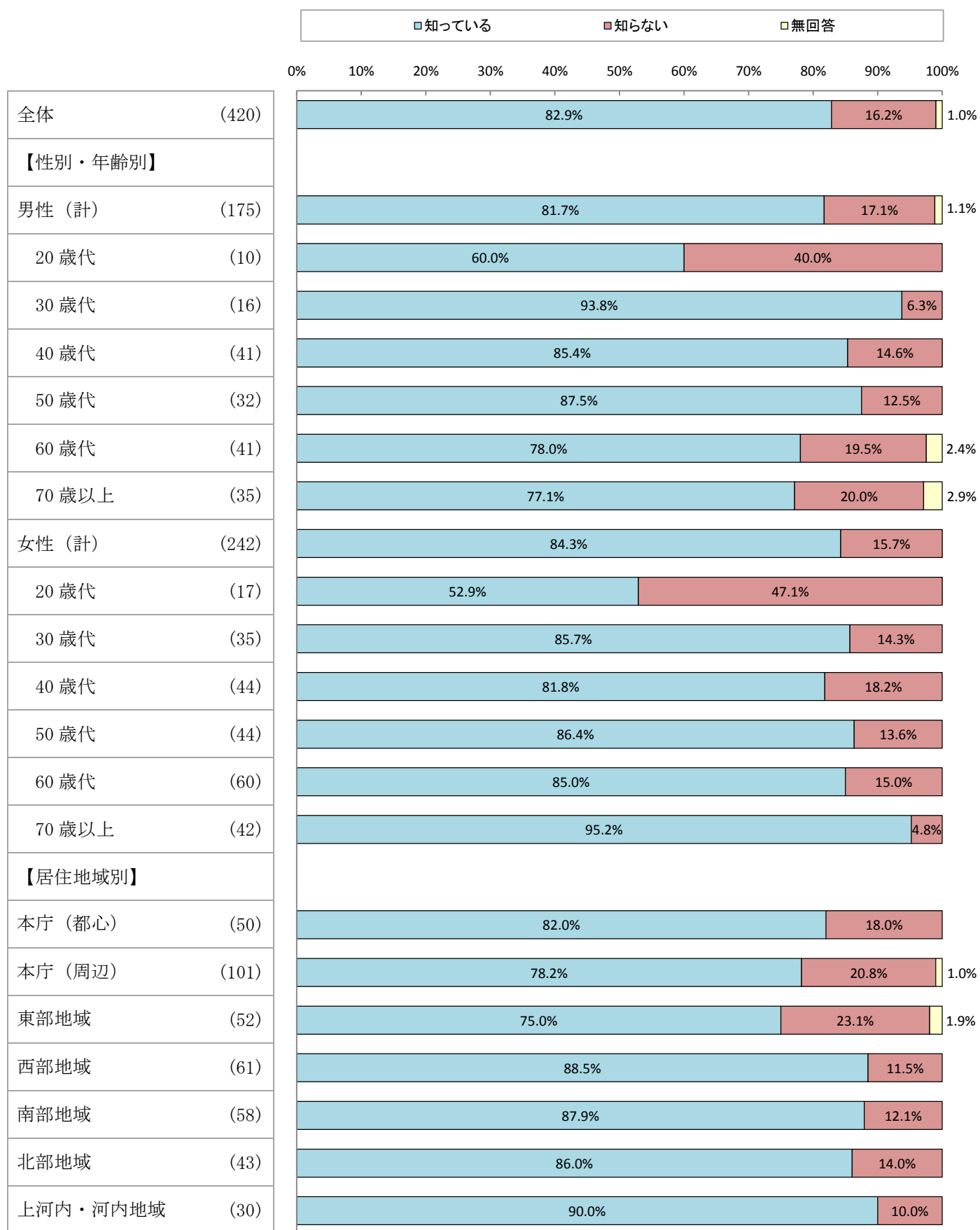


全ての住宅等に住宅用火災警報器の設置が義務づけられたことを知っているかについては、「知っている」が82.9%で、認知度の高さが見受けられる。(図IV-5-1)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<女性/70歳以上>が95.2%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が93.8%であった。一方、「知らない」は<20歳代>が<女性>47.1%，<男性>40.0%で高い傾向であった。(図IV-5-2)

居住地域別でみると、「知っている」は<上河内・河内地域>が90.0%で最も高く、次いで<西部地域>が88.5%であった。(図IV-5-2)

<図IV-5-2>性別・年齢別/居住地域別

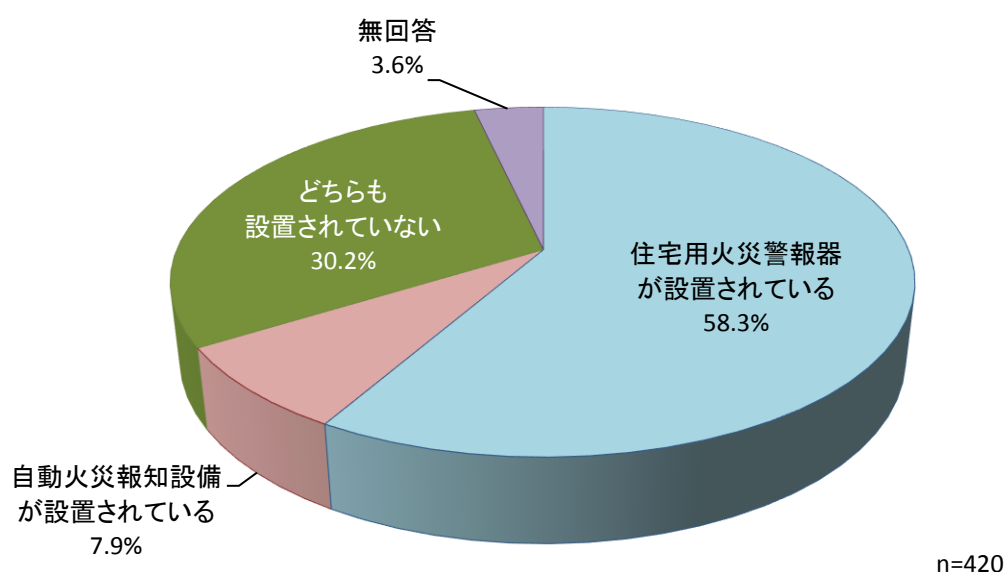


(2) 「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況

◇ 【「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」が設置されている（計）】が6割半ば

問15	現在、自宅に「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」が設置されていますか。	(○は1つ)
		n=420
1	住宅用火災警報器が設置されている	58.3%
2	自動火災報知設備が設置されている	7.9%
3	どちらも設置されていない	30.2%
	(無回答)	3.6%

<図IV-5-3>全体

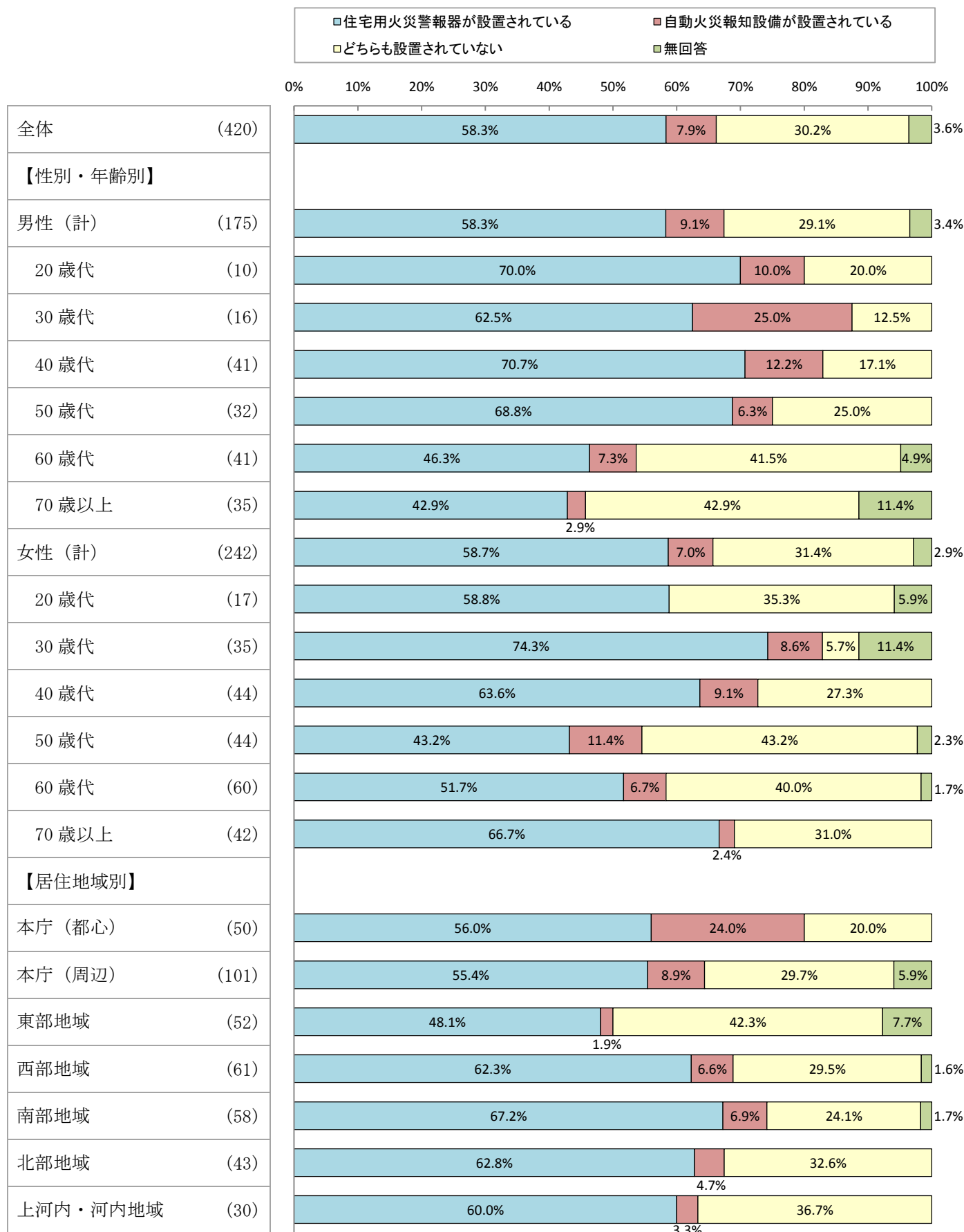


自宅への住宅用火災警報器または自動火災報知設備が設置されているかについては、「住宅用火災警報器が設置されている」58.3%と「自動火災報知設備が設置されている」7.9%を合わせると6割半ばであった。(図IV-5-3)

性別・年齢別でみると、「住宅用火災警報器が設置されている」は<女性/30歳代>が74.3%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が70.7%であった。「自動火災報知設備が設置されている」は<男性/30歳代>が25.0%で最も高かった。一方、「どちらも設置されていない」は<女性/50歳代>が43.2%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が42.9%であった。(図IV-5-4)

居住地域別でみると、「住宅用火災警報器が設置されている」は<南部地域>が67.2%で最も高かった。「自動火災報知設備が設置されている」は<本庁(都心)>が24.0%で最も高かった。一方、「どちらも設置されていない」は<東部地域>が42.3%で最も高かった。(図IV-5-4)

<図IV-5-4>性別・年齢別/居住地域別

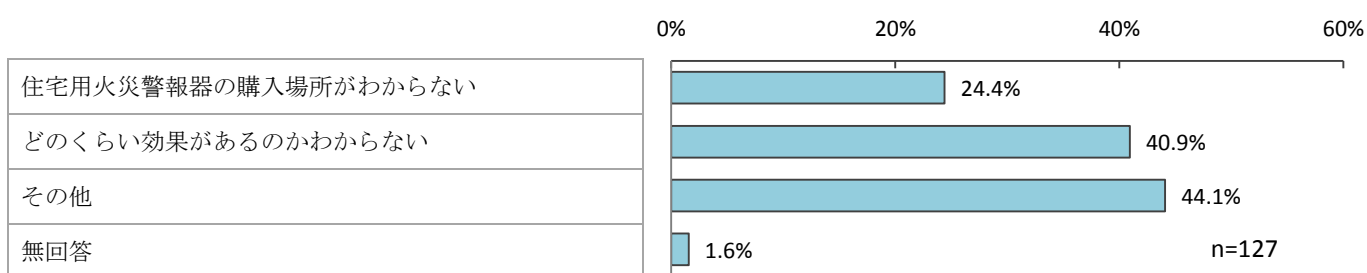


(2-1) 「住宅用火災警報器等」を設置していない理由

◇ 「どのくらい効果があるのかわからない」が約4割

問16	問15で、「3 どちらも設置されていない」と答えた方にお伺いします。 「住宅用火災警報器等」を設置していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)	n=127
1	住宅用火災警報器の購入場所がわからない	24.4%
2	どのくらい効果があるのかわからない	40.9%
3	その他	44.1%
	(無回答)	1.6%

<図IV-5-5>全体

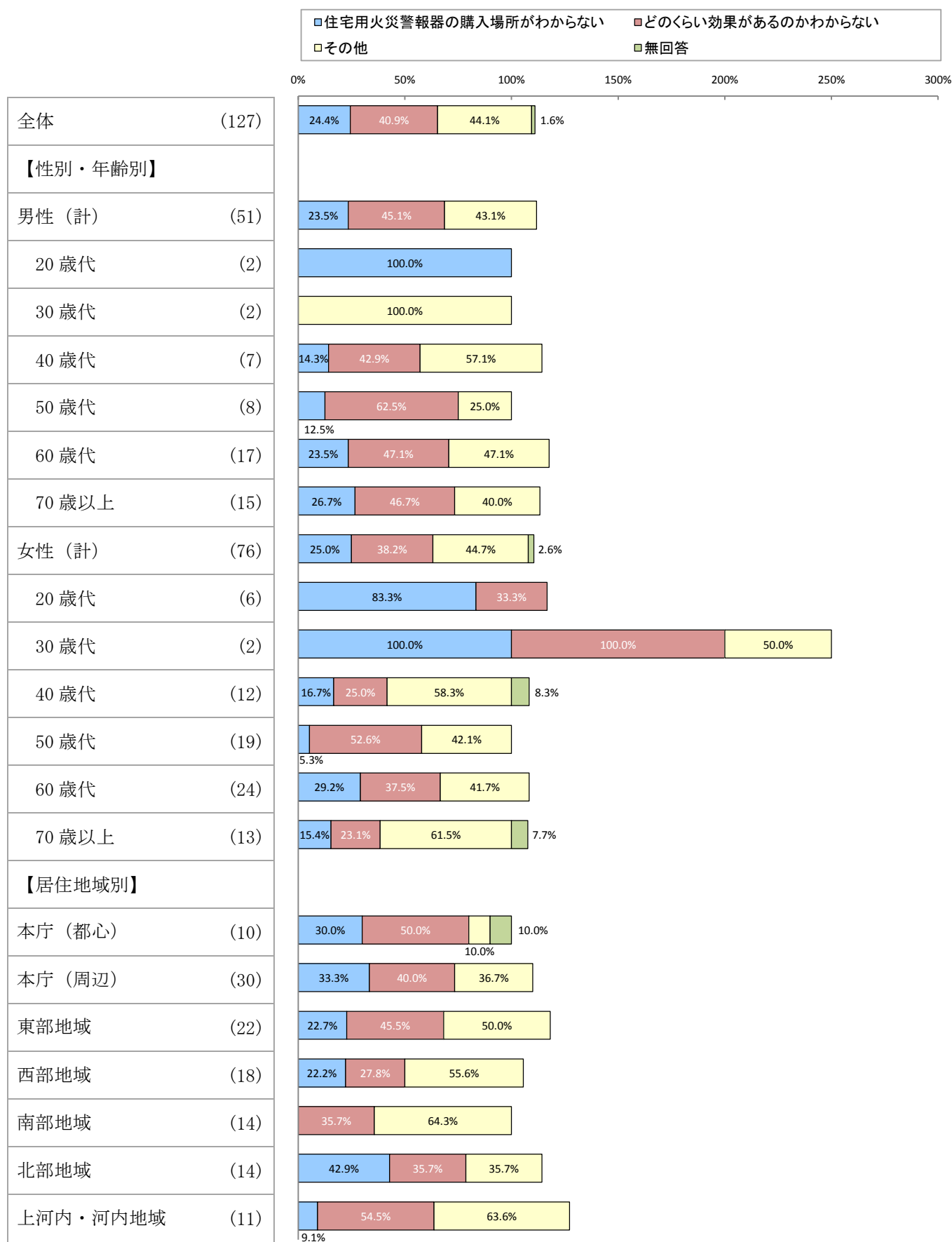


住宅用火災警報器等を設置していない理由については、「どのくらい効果があるのかわからない」が40.9%、「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」が24.4%であった。その他としては、「知らなかった」、「賃貸住宅なので」、「費用がかかる」などがあった。(図IV-5-5)

性別・年齢別でみると、「その他」を除いて、いずれの年代でも「どのくらい効果があるのかわからない」が高い傾向であった。(図IV-5-6)

居住地域別でみると、「どのくらい効果があるのかわからない」は<上河内・河内地域>が54.5%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が50.0%であった。「住宅用火災警報器の購入場所がわからない」は<北部地域>が42.9%で最も高かった。(図IV-5-6)

<図IV-5-6>性別・年齢別/居住地域別

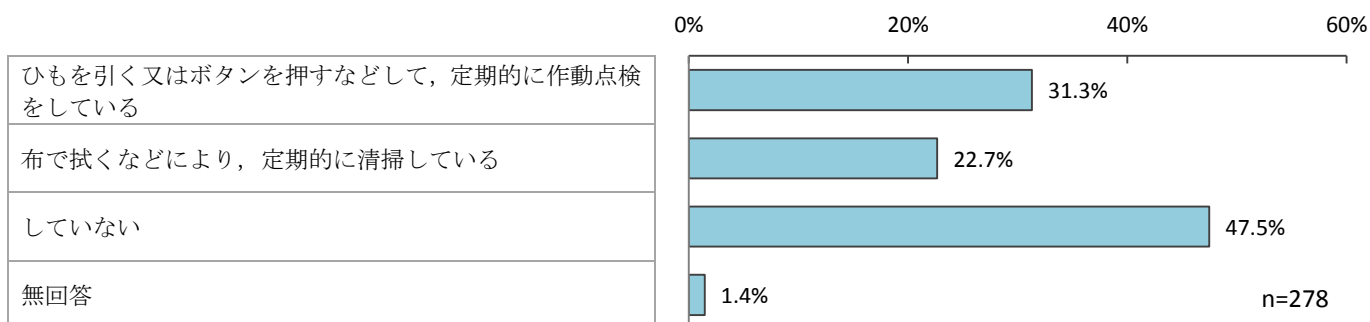


(2-2) 「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況

◇ 「定期的に作動点検・清掃している」が5割半ば

問17	問15で、「1 住宅用火災警報器が設置されている」「2 自動火災報知設備が設置されている」と答えた方にお伺いします。--	
	「住宅用火災警報器等」の点検等を実施していますか。	(○はいくつでも) n=278
1	ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている ※最新機種 of 多くは、電池寿命10年です。	31.3%
2	布で拭くなどにより、定期的に清掃している ※ほこりがつくと、火災を感知しにくくなります。	22.7%
3	していない	47.5%
	(無回答)	1.4%

<図IV-5-7>全体



住宅用火災警報器等の点検等の実施については、「していない」が47.5%で最も高く、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」が31.1%、次いで「布で拭くなどにより、定期的に清掃している」が22.7%であった。(図IV-5-7)

性別・年齢別でみると、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」は<男性/70歳以上>が75.0%で最も高かった。「布で拭くなどにより、定期的に清掃している」は<女性/70歳以上>が37.9%で最も高かった。一方、「していない」は<男性/20歳代>が75.0%で最も高かった。(図IV-5-8)

居住地域別でみると、「ひもを引くまたはボタンを押すなどして、定期的に作動点検をしている」は<本庁(周辺)>が40.0%で最も高く、次いで<東部地域>が38.5%であった。「布で拭くなどにより、定期的に清掃している」は<南部地域>が32.6%で最も高かった。一方、「していない」は<東部地域>が53.8%で最も高かった。(図IV-5-8)

<図IV-5-8>性別・年齢別/居住地域別

